

（厚生労働大臣が定める利用者等の数の基準及び看護職員等の員数の基準並びに通所介護費等の算定方法の一部改正）

第四条 厚生労働大臣が定める利用者等の数の基準及び看護職員等の員数の基準並びに通所介護費等の算定方法（平成十二年厚生省告示第二十七号）の一部を次の表のように改正する。

(傍線部分は改正部分)

改正後	改正前
<p>一〇五 (略)</p> <p>五の二 厚生労働大臣が定める利用者の数の基準及び看護職員等の員数の基準並びに地域密着型通所介護費の算定方法</p> <p>イ・ロ (略)</p> <p>ハ 指定地域密着型通所介護事業所の看護職員又は介護職員の員数が次の表の上欄に掲げる員数の基準に該当する場合における地域密着型通所介護費(地域密着型通所介護費に限る。)については、同表の下欄に掲げるところにより算定する。</p> <p>(表略)</p> <p>二 (略)</p> <p>六 (略)</p> <p>七 厚生労働大臣が定める登録者の数の基準及び従業者の員数の基準並びに小規模多機能型居宅介護費の算定方法</p> <p>イ 指定小規模多機能型居宅介護の登録者の数(指定小規模多機能型居宅介護事業者が指定介護予防小規模多機能型居宅介護事業者の指定を併せて受け、かつ、指定小規模多機能型居宅介護の事業と指定介護予防小規模多機能型居宅介護の事業とが同一の事業所において一体的に運営されている場合にあつては、指定小規模多機能型居宅介護の登録者の数及び指定介護予防小規模多機能型居宅介護の登録者の数の合計数)が次の表の上欄に掲げる基準に該当する場合における小規模多機能型居宅介護費については、同表の下欄に掲げるところにより算定する。</p> <p>厚生労働大臣が定める登録者の数の基準</p> <p>厚生労働大臣が定める小規模多機能型居宅介護費の算定方法</p> <p>指定地域密着型サービス介護給付費単位数表の所定単位数に百分の七十を乗じて得た単位数を</p>	<p>一〇五 (略)</p> <p>五の二 厚生労働大臣が定める利用者の数の基準及び看護職員等の員数の基準並びに地域密着型通所介護費の算定方法</p> <p>イ・ロ (略)</p> <p>ハ 指定地域密着型介護事業所の看護職員又は介護職員の員数が次の表の上欄に掲げる員数の基準に該当する場合における地域密着型通所介護費(地域密着型通所介護費に限る。)については、同表の下欄に掲げるところにより算定する。</p> <p>(表略)</p> <p>二 (略)</p> <p>六 (略)</p> <p>七 厚生労働大臣が定める登録者の数の基準及び従業者の員数の基準並びに小規模多機能型居宅介護費の算定方法</p> <p>イ 指定小規模多機能型居宅介護の登録者の数(指定小規模多機能型居宅介護事業者が指定介護予防小規模多機能型居宅介護事業者の指定を併せて受け、かつ、指定小規模多機能型居宅介護の事業と指定介護予防小規模多機能型居宅介護の事業とが同一の事業所において一体的に運営されている場合にあつては、指定小規模多機能型居宅介護の登録者の数及び指定介護予防小規模多機能型居宅介護の登録者の数の合計数)が次の表の上欄に掲げる基準に該当する場合における小規模多機能型居宅介護費については、同表の下欄に掲げるところにより算定する。</p> <p>厚生労働大臣が定める登録者の数の基準</p> <p>厚生労働大臣が定める小規模多機能型居宅介護費の算定方法</p> <p>指定地域密着型サービス介護給付費単位数表の所定単位数に百分の七十を乗じて得た単位数を</p>

る登録定員を超えること（指
定地域密着型サービス基準第
八十二条第二項に規定する場
合を除く。）。

用いて、指定地域密着型サービ
スに要する費用の額の算定に関
する基準の例により算定する。

ロ (略)

八〇十 (略)

十一 厚生労働大臣が定める登録者の数の基準及び従業者の員数の
基準並びに複合型サービス費の算定方法

イ 指定看護小規模多機能型居宅介護の登録者の数が次の表の上
欄に掲げる基準に該当する場合における複合型サービス費につ
いては、同表の下欄に掲げるところにより算定する。

厚生労働大臣が定める登録者
の数の基準

厚生労働大臣が定める複合型サ
ービス費の算定方法

施行規則第三百三十一条の八の
二の規定に基づき市町村長に
提出した運営規程に定められ
ている登録定員を超えること
（指定地域密着型サービス基
準第八十二条において準用
する指定地域密着型サービ
スに要する費用の額の算定に
関する基準の例により算定す
る。）。

指定地域密着型サービス介護給
付費単位数表の所定単位数に百
分の七十を乗じて得た単位数を
用いて、指定地域密着型サービ
スに要する費用の額の算定に関
する基準の例により算定する。

する指定地域密着型サービ
スに要する費用の額の算定に
関する基準の例により算定す
る。）。

ロ (略)

十二〇二十 (略)

二十一 厚生労働大臣が定める登録者の数の基準及び従業者の員数
の基準並びに介護予防小規模多機能型居宅介護費の算定方法

イ 指定介護予防小規模多機能型居宅介護の登録者の数（指定介
護予防小規模多機能型居宅介護事業者が指定小規模多機能型居
宅介護事業者の指定を併せて受け、かつ、指定介護予防小規模
多機能型居宅介護の事業と指定小規模多機能型居宅介護の事業
とが同一の事業所において一体的に運営されている場合にあつ

る登録定員を超えること。

用いて、指定地域密着型サービ
スに要する費用の額の算定に関
する基準の例により算定する。

ロ (略)

八〇十 (略)

十一 厚生労働大臣が定める登録者の数の基準及び従業者の員数の
基準並びに複合型サービス費の算定方法

イ 指定看護小規模多機能型居宅介護の登録者の数が次の表の上
欄に掲げる基準に該当する場合における複合型サービス費につ
いては、同表の下欄に掲げるところにより算定する。

厚生労働大臣が定める登録者
の数の基準

厚生労働大臣が定める複合型サ
ービス費の算定方法

施行規則第三百三十一条の八の
二の規定に基づき市町村長に
提出した運営規程に定められ
ている登録定員を超えること
（指定地域密着型サービス基
準第八十二条において準用
する指定地域密着型サービ
スに要する費用の額の算定に
関する基準の例により算定す
る。）。

指定地域密着型サービス介護給
付費単位数表の所定単位数に百
分の七十を乗じて得た単位数を
用いて、指定地域密着型サービ
スに要する費用の額の算定に関
する基準の例により算定する。

する指定地域密着型サービ
スに要する費用の額の算定に
関する基準の例により算定す
る。）。

ロ (略)

十二〇二十 (略)

二十一 厚生労働大臣が定める登録者の数の基準及び従業者の員数
の基準並びに介護予防小規模多機能型居宅介護費の算定方法

イ 指定介護予防小規模多機能型居宅介護の登録者の数（指定介
護予防小規模多機能型居宅介護事業者が指定小規模多機能型居
宅介護事業者の指定を併せて受け、かつ、指定介護予防小規模
多機能型居宅介護の事業と指定小規模多機能型居宅介護の事業
とが同一の事業所において一体的に運営されている場合にあつ

ては、指定介護予防小規模多機能型居宅介護の登録者の数及び指定小規模多機能型居宅介護の登録者の数の合計数）が次の表の上欄に掲げる基準に該当する場合における介護予防小規模多機能型居宅介護費については、同表の下欄に掲げるところにより算定する。

厚生労働大臣が定める登録者の数の基準	厚生労働大臣が定める介護予防小規模多機能型居宅介護費の算定方法
施行規則第四百十条の二十五の規定に基づき市町村長に提出した運営規程に定められる登録定員を超えること（指定地域密着型介護予防サービス基準第五十八条第二項に規定する場合を除く。）	指定地域密着型介護予防サービスの介護給付費単位数表の所定単位数に百分の七十を乗じて得た単位数を用いて、指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準の例により算定する。

ロ (略)

二十三 厚生労働大臣が定める利用者の数の基準及び看護職員等の員数の基準並びに通所型サービス費の算定方法

イ 第一号通所事業の月平均の利用者の数（指定事業者が指定通所介護事業者の指定を併せて受け、かつ、第一号通所事業及び指定通所介護の事業が同一の事業所において一体的に運営されている場合にあつては、第一号通所事業の利用者の数及び指定通所介護の利用者の数の合計数）が次の表の上欄に掲げる基準に該当する場合における通所型サービス費については、同表の下欄に掲げるところにより算定する。

厚生労働大臣が定める利用者の数の基準	厚生労働大臣が定める通所型サービス費の算定方法
施行規則第四百十条の六十三の五の規定に基づき市町村長に提出した運営規程に定めら	介護保険法施行規則第四百十条の六十三の二第一号に規定する厚生労働大臣が定める基

ては、指定介護予防小規模多機能型居宅介護の登録者の数及び指定小規模多機能型居宅介護の登録者の数の合計数）が次の表の上欄に掲げる基準に該当する場合における介護予防小規模多機能型居宅介護費については、同表の下欄に掲げるところにより算定する。

厚生労働大臣が定める登録者の数の基準	厚生労働大臣が定める介護予防小規模多機能型居宅介護費の算定方法
施行規則第四百十条の二十五の規定に基づき市町村長に提出した運営規程に定められる登録定員を超えること。	指定地域密着型介護予防サービスの介護給付費単位数表の所定単位数に百分の七十を乗じて得た単位数を用いて、指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準の例により算定する。

ロ (略)

二十二 (略)

(新設)

<p>れている利用定員を超えること。</p>	<p>準（令和三年厚生労働省告示第号）別表単位数表の所定単位数に百分の七十を乗じて得た単位数を用いて、同告示の例により算定する。</p>
<p>ロ 通所型サービス事業所の看護職員又は介護職員の員数が次の表の上欄に掲げる員数の基準に該当する場合における通所型サービス費については、同表の下欄に掲げるところにより算定する。</p>	<p>厚生労働大臣が定める通所型サービス費の算定方法</p> <p>介護保険法施行規則第四百四十条の六十三の二第一項第一号に規定する厚生労働大臣が定める基準別表単位数表の所定単位数に百分の七十を乗じて得た単位数を用いて、同告示の例により算定する。</p>
<p>厚生労働大臣が定める看護職員又は介護職員の員数の基準</p> <p>介護保険法施行規則等の一部を改正する省令（平成二十七年厚生労働省令第四号）第五条の規定による改正前の指定介護予防サービス等基準第十九条に定める員数を置いていないこと。</p>	<p>厚生労働大臣が定める看護職員又は介護職員の員数の基準</p> <p>介護保険法施行規則第四百四十条の六十三の二第一項第一号に規定する厚生労働大臣が定める基準別表単位数表の所定単位数に百分の七十を乗じて得た単位数を用いて、同告示の例により算定する。</p>